

# 平成31年度 こども育成部 業務計画

基本理念 1	学び合い育ち合う みんなの笑顔がきらめく ひとつくり
政策目標 1	次世代の成長を喜び合えるまち

## 1 平成31年度における部局の経営方針

「茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」をもとに、部内職員一人一人が、目指すべき方向について共通認識をもちながら、職員一丸となって事業を着実に実施し、更なる子育て支援の充実に努めます。

安心して子どもを出産し、育て、預けることができる、そしてその子どもたちの成長を家庭で、地域で、みんなで支えていくための施策を着実に推進していきます。

事業の実施と仕組みづくりにあたっては、事業の成果とコストのバランス、きめ細やかさと効率化のバランス、地域と家庭、行政と民間等との役割分担など、それぞれの領域でのバランスを大切に対応していきます。

社会環境の変化や子育てへのニーズを的確に把握し、速やかに業務に反映させるとともに、市民の皆さまに正確かつ積極的にさまざまな情報提供を行います。

職員同士がコミュニケーションを深めて良好な人間関係を築き、お互いがフォローできる体制を強化して働きやすい職場にしていくために、「働き方の見直し」について継続的に取り組んでいきます。

## 2 平成31年度業務の目指すべき方向性と重点事項

●「茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援施策全般の進捗管理を行い着実に実施していくとともに、次期計画の策定作業を適切に進めます。

●小児の健全な育成と子育て世帯の経済的負担の軽減を図るために、小児医療費助成事業の通院の助成対象を小学6年生までから中学3年生までに拡大することを目指します。

●子どもの未来応援に関する総合的な支援について、関係各課の事業の推進や実態調査の結果に基づく効果的な取組を行うとともに、地域の活動団体への支援や情報発信を行います。また、茅ヶ崎版子ども食堂のあり方について検討を行います。

●安心して子どもを出産し、育て、預けることができる環境の整備を図ります。特に、年々増加する保育需要に対応するため、「新たな待機児童解消対策」に基づいて保育所等の整備や保育士の確保対策などを着実に実施するとともに、多様なニーズに応えられるきめ細やかな施策を実施していきます。

●児童クラブの入所希望者増加に対応できるよう、「児童クラブ待機児童解消対策」の時点修正を行うとともに、新たな民設民営児童クラブの開設、長期休暇対策事業の拡大、学校施設の利活用などを行い、増加する保育需要に着実に対応します。

●平成30年12月に国でまとめられた「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」等を踏まえ、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センター及び母子保健担当との連携を密にし、妊娠期から子育て期の家庭に対する切れ目のない支援を行います。

●子どもの発達に関して、さまざまな相談ニーズに対応するため、引き続き関係機関との連携を密に図るとともに、充実した親子教室等を開催するなど、療育相談事業の機能向上に努めます。

●すべての業務について、職員の一人一人が参画することができ、成果を共有できる職場環境を整えます。また、部局を越えて連携し、子育て応援サイト「レイアロハ」のコンテンツを充実させ、子育て世帯にわかりやすい情報を積極的に発信し、情報共有を深め、関係団体、関係機関と協力し、子どもたちの成長を家庭でも地域でもみんなで支え共有できる施策を推進します。